

平成20年度豊かなむらづくり全国表彰事業

近畿農政局長賞

おうごちいきかっせいかきょうぎかい 小河地域活性化協議会（兵庫県相生市）



住民による風景づくり活動（「北峯の滝」）
（概 要）



都市住民参加のハイキングイベント

（１）むらづくりの動機・背景

ほ場が不整形な棚田等で労働条件が悪いことが主原因となって耕作放棄地が増加した。このような条件不利地の問題を解消するため、昭和61年に村おこし事業として、地域の活性化と棚田の休耕地や山裾の遊休地の有効活用を行い、集落内に自生している「ゆず」の栽培、加工に取り組むことを自治会の総会で決定したことでむらづくり活動を開始した。一方、子供たちの健全育成、地域の活性化、地域間世代交流の目的で、小河地域活性化協議会を設立し、むらづくりの取組が本格化した。

（２）むらづくりの内容

- ・棚田の保全と休耕地の活用、地域の活性化のため、ゆずの栽培に取り組み、ゆず大福などの加工品の販売を行うなど地域の特産品へと成長する。
- ・ゆずの加工・販売は、生産、運営、広報面などで女性がアイデアを出すなど、女性の感性を発揮して取り組んでいる。
- ・環境の保全・回復、美しい風景づくりのため、滝周辺の雑木を伐採して隠れていた滝の風景を回復する活動や田園に接する山裾の下草刈りなどを地域住民一体となって行っている。
- ・秋祭り等での伝統芸能の保存活動及び地区内の神社などの文化遺産の清掃活動を地域住民一体となって取り組む。
- ・地域の名勝となっている「北峯の滝」へのハイキングや「レンゲ祭り」など、都市住民との交流活動を推進している。
- ・小学生を対象としたゆずの栽培の現場体験、ゆずの出荷からゆず酢ができるまでの体験学習活動を行っている。